

。 。 ○ 。 。 ○ ○ 。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2022. 3. 2

下水道機構の『新技術情報』 第491号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。 。 ○ 。 。 ○ ○ 。

令和3年度も最後の月になりました。

トピックスでもあるように、令和4年度の研修計画をアップロードしました。

コロナの状況がどうなるか全く予想できない状態ではありますが、従来のセミナーのように会議室をお借りして対面で講演するスタイルと、WEB配信による講演のスタイルの両立を目指していこうと考えています。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第491号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・令和4年度 研修計画をアップロードしました！
- ・第404回 技術サロンを2022年3月10日にZoomウェビナーで開催します！

■機構の行事予定

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・梅まつり
(Fさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・講演ダイジェスト
(第27回下水道新技術研究発表会 (WEB) 下水道行政の最新の動向について)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・2/28付下水道ホットインフォメーション Vol.09

インフォメーション (最新の話です)

。 。 ○ 。

●令和4年度 研修計画をアップロードしました！

詳しくは下水道機構ホームページのトップページにある「令和4年度 研修計画」ボタンよりご確認ください。

<https://www.jiwet.or.jp/>

●第404回 技術サロンを2022年3月10日に開催します！

今回は、公益社団法人 日本下水道協会 DX調査研究担当部長 堂 蘭 洋昭氏より、ご講演頂きます。

インターネット環境があれば、どこからでも参加出来ますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和4年3月10日(木) 16:00～17:00

場 所：Zoomウェビナー

講演者：公益社団法人 日本下水道協会 DX調査研究担当部長 堂 蘭 洋昭氏

テーマ：下水道のデジタルトランスフォーメーション(DX)及び下水道共通プラットフォームについて

※詳細及び参加申し込みはこちら
<https://www.jiwet.or.jp/salon404>

。○。 機構の行事予定

。○。

●今週はありません。

。○。 Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●梅まつり

(Fさんからの投稿です)

梅のつぼみもほころぶ季節となりました。梅の品種は多く、現在では300種類以上あるといわれているそうです。

ソメイヨシノに代表される桜は、見頃が短いけれど見渡す限りの景色が桜の花一色になるほど見事に咲きそろうのに対して、梅は色とりどりに順を追って咲いていく風情を楽しむ花です。

近所の公園では、白梅、紅梅の約40品種500本もの梅が植えられており、例年2月中旬から3月上旬頃が見頃です。毎年梅の開花時期に合わせて梅まつりが開催されますが、今年はコロナの感染状況から中止となりました。

一日でも早くコロナウイルスが終息することを願います。

。○。 ピックアップ！ 機構情報

(下水道機構情報PLUS+ Vol. 12 No. 21 2021. 10. 27 の中から記事をご紹介します)

。○。

●講演ダイジェスト

(第27回下水道新技術研究発表会 (WEB) 「信頼学」から考える下水道経営とPPP)

下水道は地域独占事業と言えます。独占事業は責任が非常に重く、失敗すれば事業全体が一気に崩れてしまいます。このような特色を持つ下水道事業において、建設中心時代には、工事の説明が主な市民との接触の機会だったかも知れません。しかし、これからのマネジメント時代、長期的な安定経営のために最も重要なことは、使用料への理解、非常時のソフト対策など信頼に基づく「協働」です。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-03-02-quarterly1>

下水道機構情報Vol. 17 No. 34 2022. 1 (最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly34>

WEB版機関誌下水道機構情報Plus+ 21号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter21>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○。 はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 ○ 。

国からの情報

。 。 ○ 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション Vo.9 (2022. 2. 28の情報です)

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 若公崇敏

=====

おはようございます。

この週末、東京は晴天に恵まれ、気温も上昇。春の兆しが見えてきました。

今日で2月も最終日。今年度も残すところあと1か月です。

これまで多くの下水道部関連の職員を紹介してきました、

まだご紹介できていない方も少なくなってきました。

本日は、直接自治体等のみなさんと接する機会は多くないかもしれませんが、

日々の総務的な仕事から国会対応の進行管理まで、下水道部のバックオフィスを

しっかりと支えていただいている、総務係長の乾さんをご紹介します。

今回初めて知りましたが、なんと、ワールドクラスのアスリートでもあります！

=====

昨年の4/1から下水道事業課の総務係長をしています乾です。これまで、省内では道路局、国政局、政策評価で、省外では環境省や内閣府防災担当などで勤務経験があります。総務は、事業に直接関わる仕事ではありませんが、自分の仕事が課や部局、省の中だけでなく、回り回って、全国の下水道に関わる方のすべての仕事が円滑に進むことにつながっていればいいなと思います。

プライベートでは、フリーダイビングという競技をしています。ひと息で泳げる「距離」や潜れる「深さ」、息を止めていられる「時間」を競うという、どマイナースポーツです。息を止めると聞くと、なぜそんな苦しいことを？と思われるかもしれませんが、水の中で自分の身体と向き合うとても気持ちのいいスポーツです。

(でも苦しい時は苦しいです。)

国内の選手数も非常に少ないので、2018年にはプール種目で日本代表に選ばれ、

セルビアで開催された世界選手権に出場しました。

まだまだ国内のトップ選手や海外の選手たちとは大きな差があるのですが、

調子がいいと、息を4~5分くらい止めたり、息継ぎなしで100m以上泳げたりします。

ここ2年くらいは国内外の大会も中止が多く、一時は、都内のプールというプールは閉鎖&県境を越えて海にも行けない、練習すらできない…という状況に陥りました。昨秋くらいからやっと、感染対策をしながらの練習や大会開催ができるような状況になってきたような気がします。2022年はブルガリアで世界選手権が開催される予定ですので、もし日本代表に選考されたときには、みなさん応援お願いします！

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○脱炭素社会の実現に向け、今後の下水道の取り組みをまとめます

～「脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会」第5回(最終回)の開催～(国土交通省)

○下水道セーフティネットN0. 243(国土交通省)

○GKP広報大賞2021受賞者セミナーを開催します(下水道広報プラットフォーム)

○東大水フォーラム公開シンポジウム「持続可能な社会と水シリーズ 水循環と物質循環」録画公開のお知らせ(東京大学下水道システムイノベーション研究室)

○脱炭素社会の実現に向け、今後の下水道の取り組みをまとめます

～「脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会」第5回(最終回)の開催～(国土交通省)

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000493.html

「地球温暖化対策計画」における2030年目標の確実な達成をはじめ、下水道が脱炭素社会の実現に率先して貢献するためには、施設整備から維持管理に至るすべての省・創・再エネ化や資源利用を戦略的に推進する必要があります。このため、今後取り組むべき総合的な施策とその実施行程表について審議を行います。今回の議論を踏まえて、令和3年度末までに報告書を取りまとめる予定です。

日 時：令和4年3月1日(火) 15:00~17:00

開催形式：オンライン（Zoom）開催

議 事：（１）第４回での主な意見・提案について

（２）脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会報告書案について

※会議は非公開で行います。

※当日の議事概要や資料は、国土交通省ホームページにて公表予定です。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/mizukokudo_seweraTk_000734.html

○下水道セーフティネットN0.243（国土交通省）

「下水道セーフティネットN0.243について」（令和4年2月25日号）を发出了しました。
令和4年1月における事故発生件数は以下のとおりです。

- ・人身事故（維持管理作業） 2件 うち死亡0件
- ・人身事故（工事） 11件 うち死亡2件
- ・水質事故等 2件 うち水質事故2件

今回のセーフティネットは1月末までの事故を集計したものです。

各下水道管理者におかれましては、下記HP掲載の過去のセーフティネット等も参考に改めて安全管理を徹底し事故の未然防止に努めるようお願いします。

（下水道セーフティネット）

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewera/crd_seweraTk_000005.html

○GKP広報大賞2021受賞者セミナーを開催します（下水道広報プラットフォーム）

下水道広報プラットフォーム（GKP）は令和4年3月22日、GKP広報大賞2021の受賞団体をお招きし、プロジェクトの成功の秘訣や今後の戦略などを伺う「GKP広報大賞2021 受賞者セミナー」を開催します。当日の様子はYouTubeでライブ配信するほか、若干のリアル参加も受け付けます。

日時：2022年3月22日（火）15:00～17:00

内容：第1部 表彰セレモニー、第2部 パネルディスカッション
広報体制構築の背景／プロジェクト立ち上げのポイント／課題への向き合い方／プロジェクトの今後／取組の拡大とGKPの役割

配信：GKPのYouTubeチャンネルでライブ配信します。

<https://www.youtube.com/channel/UCZEQHn2qSfPuT4ewG7T1T0w>

上記チャンネルでは、各団体のプレゼン動画や審査会の動画も視聴できます。

詳しくは、GKPのサイトへ！ <http://www.gk-p.jp/2022/02/21/5316/>

○東大水フォーラム公開シンポジウム「持続可能な社会と水シリーズ 水循環と物質循環」録画公開のお知らせ（東京大学下水道システムイノベーション研究室）

2/16に標題シンポジウムが開催されましたが、当日の様子を録画した映像及び資料が公開されましたのでご案内します。

日時：令和4年2月16日

方法：Zoomウェビナー

プログラム：

- ・開会 東大水フォーラム座長 東京大学大学院 片山 浩之 教授
- ・基調講演 近現代中国における水・社会・国家 大学院経済学研究科 城山 智子 教授
- ・講演1 持続可能な海洋利用 大学院新領域創成科学研究科 多部田 茂 教授
- ・講演2 下水道インフラを核とする地域循環システムの形成 大学院工学系研究科 加藤 裕之 特任准教授
- ・講演3 下水からのリン回収 大学院新領域創成科学研究科 佐藤 弘泰 教授
- ・講演4 窒素資源循環社会を実現するための希薄反応性窒素の回収・除去技術開発 大学院工学系研究科 脇原 徹 教授
- ・総合討論&質疑応答 モデレーター：片山 浩之 教授

公開シンポジウムの動画（公開期限 3月15日まで）。

<https://youtu.be/LEGYZ45uaX0>

講演資料は下記よりダウンロードいただけます（公開期限 3月15日まで）

https://workingfolder.fujifilm.com/share/2100401/dl/33aZoApSM0cId2JFMWbY740MNR0JvwdUOUq0N1_jUc_j_FGcbjJCFtgrYSWoJx-VTFKF5htAKtoKL3KVpgFdfgBBngaWsl eF-HhPKGpHP4m4

=====

【参考情報】

「仙台市の下水ウイルス量は横ばいで推移」東北大学大学院・佐野大輔教授<2/21 khb東日本放送>
<https://www.khb-tv.co.jp/news/14554395>

仙台市の新規感染者数ほぼ横ばいか 下水調査で予測 <2/21 NHK NEWS WEB>
<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20220221/6000018183.html>

仙台の感染者、今週は横ばいか ピークアウトの兆し 東北大院が予測<2/22 河北新報>
<https://kahoku.news/articles/20220221khn000036.html>

日鉄エンジ=下水汚泥からバイオマス燃料生産、大分で24年操業へ <2/22 リム情報開発>
<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/rre/1707901.html>

久留米市に減災・浸水対策推進を目指すPT発足<2/22 九州朝日放送>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/dda818f51a9e1c419267a9fd925d0f04b593beda>

相模川氾濫時は立体駐車場へ 緊急避難場所に海老名市と11施設協定<2/23 朝日新聞>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/e233bcb4a4d5b0dcffbb8a0d7b2c75b06271f05a>

忍者姿で事務がスピードアップ? 「忍者の日」でまちおこし 滋賀・甲賀<2/23 京都新聞>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/8082fec082701c808a2c3252f57faee42f261145>

内水氾濫防ぐ 延岡市北川町で堤防整備はじまる 宮崎県<2/24 宮崎ニュースUMK>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/e9f9c760c7ea33e95fc412e82f980130857a7f92>

六角川流域治水協議会 全体構想3月末発表へ<2/25 佐賀新聞>
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/815978>

ひんぷんガジュマル×ポケモン=マンホール「ポケふた」! 名護のシンボル新たに<2/25 琉球新報>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/e2c3e3cf8646d3a061aa5ca303fb03f808c0540e>

ご当地マンホールTシャツ 足利もラインナップに<2/25 とちぎテレビ>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/79631a76a08275ed5ef805f8013359fb94c3cb24>

マンホールやタイルに「路上図鑑」 JR前橋駅前、放置自転車防止へ<2/25 毎日新聞>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/38ffa67443140016eb34ca98c1659ad32a504745>

まんが『MANHOLE』 | マンホールと出会った未来人が「下水道があった時代」に思いを馳せる <2/25 CINRA>
https://www.cinra.net/article/202202-machidamerome_kawrk

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>

